

## 第3章 ふるさと景観アンケート調査

### 3-1 調査概要

#### (1)調査の目的

全市町村に対し、地域住民が大切にしたいと考えるふるさとの景観資源とその視点場について明らかにすることを目的に、「ふるさと景観アンケート調査」を実施しました。

この結果、新たに広域景観資源として設定し得るものや市町村の景観づくりに関する取り組みの現状を把握することができました。

この調査結果は、広域景観資源の抽出作業等の中で活用し、視点場については広域景観づくり推進のためのシナリオを検討する際に活用しました。

#### (2)調査項目

##### 1)調査1:貴市町村を代表する景観を5箇所選定

- ・「市町村を代表する景観」
  - 例えば、「〇〇公園の〇〇から見る筑波山・霞ヶ浦の自然景観」というように視対象と視点場を記入
- ・「視対象（なにを、どこを）」
  - 「〇〇山」、「〇〇山麓の集落」など、景観資源として考えられる景観要素を記入
- ・「視点場（どこから）」
  - 視点場の所在地・場所や施設名を記入
- ・「景観の概要及び選定理由、視点場の概要」
  - 対象とする景観資源の概要と選定の理由、視点場となる場所の現在の状況について記述
  - ※視対象と視点場を図示した都市計画図（S=1:10,000~20,000程度）を添付
  - ※視点場からの景観のカラー写真を写真データ（JPEG形式でCD-ROM等に収録）

##### 2)調査2:市町村の景観に関する資料について（「景観に関する報告書」や「〇〇八景」、「フォトコンテスト作品集」等）の把握

#### (3)調査対象・方法等

- ・調査対象：茨城県内の全市町村（44市町村）
- ・調査期間：平成19年7月19日～8月31日
- ・配布方法：メール配布・郵送回収
- ・回収状況：38市町村（86.3%）

表 3-1 調査 1 の市町村を代表する景観を 5 箇所の選定結果

景域	市町村名	景観分類	代表する景観	視対象 (なにを、どこを)	視点場 (どこから)	特徴・選定理由
日立	日立市	自然	伊師浜海岸 (鵜の岬周辺からの海岸の眺望)	伊師浜海岸	鵜の岬周辺	青い海と白い砂浜、緑の松林が続いており、日本の白砂青松百選にも選ばれている。日立二十四景「自然景観」に選出。
	日立市	自然	小貝浜(駐車場周辺からの海岸の眺望)	小貝浜海岸	小貝浜駐車場及びその周辺	断崖と緑の松林が調和した海岸が広がり、海岸付近の二ツ島と相まって絶妙な景観となっており、茨城百景にも選ばれている。日立二十四景「自然景観」に選出。
	日立市	産業	大煙突(県道日立山方線からの大煙突と桜の眺望)	大煙突と周辺の桜	県道日立山方線	日立鉱山の煙害対策として建設され当時は世界一の高さを誇った。平成5年に一部崩壊し約三分の一の高さになったが、日立市発展のシンボルである。周辺の山々の大島桜も煙害対策として植えられたものである。日立二十四景「産業資産・都市景観」に選出。
	日立市	自然	かみね公園(展望台からの桜、市街地、太平洋の眺望)	桜、市街地、太平洋	かみね公園展望台	市民の憩いの場として整備された公園で、園内の桜は日本のさくら名所100選地に選ばれている。展望台からは園内の桜と市街地、太平洋が一望できる。日立二十四景「自然景観」に選出。
	日立市	生活	平和通り(沿道からの桜並木の眺望)	桜並木	道路、歩道、歩道橋	約1kmの通り沿いに115本のソメイヨシノが植えられており、日本のさくら名所100選地に選ばれている。日立二十四景「産業資産、都市景観」に選出。
	高萩市	自然	土岳(つちたけ)から見る富士山	富士山	土岳山頂(高萩市大字大能)	標高599.7mの土岳山頂。11月末から2月までは遠く富士山を望むことができ、冬季限定の景観となっている。『関東の富士見百景』の一つ。視点場になる土岳山頂広場は、芝生でおおわれ、気軽に山の自然を楽しむことができる。
	高萩市	自然	花貫溪谷の『汐見滝吊り橋』	花貫溪谷汐見滝吊り橋及び周辺	花貫溪谷の遊歩道(高萩市大字中戸川)	小滝沢から花貫ダムまで続く花貫溪谷(茨城百景の一つ)。四季折々の自然の姿を楽しむことができる場所で、特に紅葉期の汐見滝吊り橋周辺は、観光スポットとなっている。吊り橋を渡ると足元には汐見滝を見下ろせるほか、川沿いに左右に生い茂る紅葉が真っ赤なトンネルのように見える。『いばらき100名橋』の一つ。
	高萩市	自然	高戸小浜から見た海岸景観	海岸	海岸堤防(高萩市大字高戸)	小高い山を中心に周囲は海食崖に囲まれた箱庭のような小さな入り江を持つ景観の小浜海岸。空と海の青、海食崖の上を覆う松の緑、そして砂浜の白さがコントラストに映えて輝く。江戸時代に作られた『松岡八景』のうち「高戸の帰帆」として特徴ある景観を詠んだ場所。「日本の渚・百選」の一つである。
	高萩市	自然	お屋敷通りから見た竜子山	竜子山	お屋敷通り(松岡地区)(高萩市大字下手綱)	松岡地区は江戸時代に松岡城のあった場所。現在、この周辺は白壁の塀や石畳の道など歴史的景観が残る場所となっている。ここから望む竜子山は、その昔、竜子山城があった場所で、前出の『松岡八景』では、「竜子の晴嵐」として詠まれている。

景域	市町村名	景観分類	代表する景観	視対象 (なにを、どこを)	視点場 (どこから)	特徴・選定理由
日立						視点場は、江戸後期の松岡領家臣の私邸屋敷の家並みで、環境整備事業により城下町風に整備され、「御屋敷通り」と名付けられた。この通り一帯は、(社)日本ウォーキング協会による「美しい日本の歩きたくなるみち500選」の一つに選定され「常陸の小京都たつごの里コース」として親しまれている。
	北茨城市	自然	五浦岬公園からの六角堂	六角堂	公園展望台	市を代表する景観のひとつであり公園北側に位置する六角堂は、かの岡倉天心が思索に耽ったところで太平洋の白波が砕ける雄大な姿が美しい。
	北茨城市	産業	平潟漁港	平潟港の全景	港の入口石碑から	天然の良港として栄え、本県最北の漁港である。また、「あんこう鍋」の季節には県内外から多くの観光客が訪れることでも有名である。
	北茨城市	自然	長浜海岸の浜菊	長浜海岸の浜菊(群落)	長浜(五浦観光道路)	毎年秋に、長浜海岸一帯に咲く本市を代表する花で、観光地「五浦」への北からの玄関口として知られる同海岸沿いに群生する。
	北茨城市	自然	「マウントあかね」からの太平洋と市街地の眺望	山の緑と太平洋	「マウントあかね」から	ガラス工房「シリカ」を施設内に併設することからの眺望は、四季を通じて訪れる人を魅了して止まない。更に夜景も特別の雰囲気醸し出している。
	北茨城市	自然	磯原・二つ島海岸	二つ島	天妃山から	天妃山下の海岸から北の方向、約1kmに位置する2つの島から形成される同島の個性的景観に感銘し、毎年訪れる海水浴客も多い。
久慈	常陸太田市	自然	鯨ヶ丘高台地区からの西山公園周辺の眺望	西山公園	鯨ヶ丘の十王坂	遠景に西山公園がありその一角には久昌寺の五重塔があり、4月には西山公園の桜が咲くなど四季折々の異なった景観が楽しめる。
	常陸太田市	産業	里美牧場と風力発電の眺望	里美牧場及び風力発電用風車	里美牧場地内展望風車	標高700m～800mにある里美牧場は、敷地520haの関東最大級の牧場であり、和牛・乳牛が放牧されており、遠くには美しい山並みが望める。さらに風力発電施設が6基建設されており年間を通した四季折々の景観が楽しめる。
	常陸太田市	自然	竜神大吊橋と山並み	竜神大吊橋と周辺の山並み	天下野町平地区	この吊橋は奥久慈県立自然公園に位置し、V字形の美しい渓谷を流れる竜神川をせき止めた竜神ダムの上にかけており、長さ375mで、歩行者用としては本州一の長さを誇り、ダム湖面よりの高さは100m、四季折々の景観が楽しめる。
	常陸太田市	生活	蕎麦畑と里山の眺望	傾斜地にある蕎麦畑と里山	県道常陸那珂港・山方線上利員町地内	常陸太田市の金砂郷地区は常陸秋そばの産地であり、毎年8月の下旬から9月上旬になると白い蕎麦の花が咲き里山の景観によくあっている。
	大子町	自然	観瀑台からの袋田の滝	袋田の滝	袋田の滝観瀑台	日本三名瀑のひとつに数えられる袋田の滝の大迫力を一番に感じられることができる場所。マイナスイオンも豊富。四季折々に異なった表情を見せ、訪れる人たちを十分に楽しませる。

景域	市町村名	景観分類	代表する景観	視対象 (なにを、どこを)	視点場 (どこから)	特徴・選定理由
久慈	大子町	自然	つつじヶ丘からの男体山	男体山	つつじヶ丘に整備された展望台	町の東南部に位置する奇峰山の西側と南側は、断崖絶壁。その名のとおり男性的な景観で、ハイカーに人気の山である。つつじヶ丘には、ツツジの大群落があり、新緑の時期には赤い絨毯を敷きつめたように咲く。
	大子町	自然	ロードパークからの久慈川	久慈川のシガ	国道 118 号沿いに整備されたロードパーク	遠景に男体山、手前に久慈川が流れ、そこに木橋が架かる景観は、多くのカメラマンを魅了する。四季折々の異なった表情を見せるが、特に「冬の名物」久慈川のシガの撮影ポイントとして最適な場所である。
	大子町	自然	展望台からの眼下に広がる大パノラマ	八溝山からの大パノラマ	八溝山展望台	県内最高峰の八溝山。山頂付近に建てられた展望台からは、東に阿武隈山系、西に日光・那須連山、そして南に奥久慈の山並みと、360 度の大パノラマを楽しむことができる。八溝山には、ブナやダケカンバなどの原生林や、名水 100 選の一つに選定された八溝川湧水群もある。
	大子町	自然	月居山からの自然景観	奥久慈大子の山々	月居山	袋田の滝に隣接していることから多くの観光客が訪れる場所であり、ハイキングコースも整備され、山頂付近や月居観音堂からは、袋田温泉と奥久慈の山々、遠くは那須連山までも一望できる。
水戸	水戸市	自然	偕楽園から見た千波湖方面の眺望	千波湖及び千波公園	偕楽園仙奕台、偕楽園好文亭	元来、偕楽園は周辺の湖水と田園風景を借景に造園されたが、現在、その周辺は千波公園として整備がなされており、今日も日本三名園として知られる優れた景観美を楽しむことができる。
	水戸市	生活	千波湖から見た市街地方面の眺望	斜面緑地上に見える中心市街地の建築物群	千波湖の南岸、好文茶屋付近	千波湖から中心市街地を望む景観は、湖面や斜面緑地等の自然と水戸美術館をはじめとした人工物との対比的な景観を形成し、良好な眺望を市民に提供している。
	水戸市	生活	茨城県庁から見た水戸市街地の眺望	水戸市街地	茨城県庁 25 階展望室	茨城県庁最上階は水戸市内や周辺地域のパノラマが一望できる眺望スポットで、夜間休日とも一般開放されており人気を博している。特に、北側は水戸市街地全域の眺望がとらえられる絶好の視点場である。
	水戸市	歴史	大手橋から見た弘道館	弘道館	大手橋	水戸徳川家の城下町として知られる水戸市では、戦災等により多くの歴史的建造物が失われたが、江戸時代最大級の藩校として知られる弘道館は奇跡的に戦禍を免れた。特に、水戸城趾に架かる大手橋から見た弘道館は、往事の雰囲気が偲ばれる格好の景観である。
	水戸市	歴史	道明橋から見た備前堀	備前堀及びその沿道地区	道明橋	備前堀は江戸時代初期に造られた用水堀で、その一带は江戸時代の町人町の雰囲気の残る水戸でも数少ない場所として知られる。堀に架かる道明橋には、設計者伊奈備前守忠次の像なども設置されており、沿道地区が一望できる。

景域	市町村名	景観分類	代表する景観	視対象 (なにを、どこを)	視点場 (どこから)	特徴・選定理由
水戸	笠間市	自然	長沢地区からの難台山の眺望	難台山	長沢地区	春の難台山を麓の長沢地区から望む風景は、新緑と山桜に包まれたすがすがしい景観である。中腹には、すずらんの群生地があり、市民によるハイキングロードも整備され春から夏にかけては、家族連れやグループがハイキングを楽しむ姿が見られる。
	笠間市	自然	笠間クラインガルテンから前山の眺望	前山	—	クラインガルテン (kleingarten) は、ドイツ語で「小さな庭」。地域住民と交流できるクラインガルテンは、いわば”滞在型市民農園”。ここから、北関東自動車道を手前に前山を望みます。クラインガルテンでは、都会の人たちが、里山の中での野菜づくりや稲づくりに汗を流す姿が見られる。
	笠間市	自然	笠間門前通りからの佐白山の眺望	佐白山	笠間稲荷神社門前通り	城下町の雰囲気を漂わせる原風景。笠間のまちが変わるのを見つめ続けた佐白山。麓には笠間城の城址が残る。まちが変わっても佐白山は変わらない。門前通りには、笠間稲荷神社とともに生きてきた人々の暮らしと佐白山の風景がある。
	笠間市	自然	ギャラリーロードからの市街地、そして仏頂山の眺望	笠間市街地、仏頂山	笠間芸術の森公園通り (ギャラリーロード)	笠間市街地が盆地である象徴的な眺望。笠間市街地の背景には仏頂山の眺望。仏頂山の麓には片庭ヒメハルゼミの発生地がある。
	笠間市	自然	橋爪地区からの愛宕山の眺望	愛宕山	橋爪地区、憩いの家「はなさか」	遠景に愛宕山から伸びる稜線の眺望。手前に市民の憩いの場所となっている「はなさか(温泉)」がある。
	ひたちなか市	自然	比観亭跡から見た磯崎漁港及び阿字ヶ浦海岸	磯崎漁港、阿字ヶ浦海岸	比観亭跡	水戸藩第6代藩主徳川治保が、眼前に広がる大海原を賞賛し、この地に、四阿「比観亭」を建てた地。眼下には磯崎漁港、前方には太平洋と近代的な施設の常陸那珂港を眺望できる景勝の地である。
	ひたちなか市	生活	水田の中を走る茨城交通湊線	茨城交通湊線	中根	水田と山に囲まれた自然の中を走るローカル線の様子は鉄道ファンの人気も高く、春から秋にかけての移りゆくのどかな田園風景とともに楽しむことができる。
	ひたちなか市	歴史	酒列磯前神社参道入口から見た参道	酒列磯前神社	参道入口	参道両側には常緑広葉樹を主体とする自然林が広がっており、椿の巨木や、タブノキ、スダジイなども混生している特異な樹叢を見ることができる。
	ひたちなか市	生活	昭和通り線のシンボルロードの歩行空間	シンボルロード	勝田駅入口交差点(常陽銀行前)から東石川1丁目交差点間随所	「市の木」イチョウをモチーフとした街路灯、18体のブロンズ彫刻を配置したシンボルロードとして約650mの区間が整備され、中央分離帯のイチョウ、歩道のハナミズキの植栽や彫刻を鑑賞しながら歩行できる良好な景観を形成。
	ひたちなか市	自然	国営常ひたち海浜公園の園内景観	みはらしの丘	みはらしの丘の麓から頂上一帯	春はネモフィラ、秋はコスモスなどの草花が小高い丘全体に植栽され、雄大な景観が来園者の眼を楽しませている。
那珂市	生活	一の関ため池親水公園と、中央公民館周辺	一の関ため池親水公園と中央公民館	公園南側外周歩道からの眺め	一の関ため池を改修し一の関ため池親水公園として整備し、市内に現存していた曲がり屋を移築し市民に親しまれている。公園整備後、冬季には数多くの白鳥が飛来し名所。	

景域	市町村名	景観分類	代表する景観	視対象 (なにを、どこを)	視点場 (どこから)	特徴・選定理由
水戸	那珂市	自然	県民の森周辺と総合公園の自然環境	植物園, 県民の森, 総合公園周辺	植物園及び総合公園周辺	明治 100 年を記念して作られた県民の森は、自然林が続き森林浴やハイキングに適し、隣接している植物園は四季折々の花が咲き、多くの来場者で賑わっている。また、付近には那珂総合公園があり、温水プールやスポーツ施設が整備され終日賑わっている。
	那珂市	自然	静峰ふるさと公園の八重桜と古徳沼の白鳥	静峰ふるさと公園と古徳沼	静峰ふるさと公園周辺及び古徳沼周辺	静峰ふるさと公園は、自然の地形を生かし県内でも八重桜の名所として知られている。また、灯ろうによるライトアップ「夢 AKARI」のイベントを開催し、多くの市民が集い幻想的な景観が好評となっている。
	那珂市	自然	幸久大橋を望む風景と木立に囲まれた額田神社	幸久大橋と額田神社	久慈川堤防からの幸久大橋の風景と額田神社	隣接する常陸太田市との間を流れる久慈川に架かる幸久大橋は、県内でも有数の長さを誇り自然豊かな川辺の風景を楽しむことができる。また、橋を見下ろすうっそうとした杉木立の中に佇む額田神社は平安中期に建立され、その重厚な建物と長い杉並木の参道は、氏子たちの手により守り続けられている。
	那珂市	生活	下江戸河原と千代橋	千代橋からの下江戸河原を望む風景	千代橋から	市の北西端を流れる那珂川に架かる千代橋からの眺めは那珂川の清流と周辺の景色が一体となって、季節ごとに一大パノラマを演出しており、多くのレジャー客で賑わっている。
	茨城町	自然	涸沼 広浦秋月から見た筑波山	筑波山, 涸沼湖面に映る月	涸沼の岸に整備された公園	晴れた日には、筑波山を望むことができ、夕方になると筑波山に夕日が落ちる時間帯が湖面とのコントラストが良い。また、湖面に映る中秋の名月は、「広浦の秋月」として9代藩主徳川斉昭が水戸八景のひとつに選んでいる。視点場となる広浦公園は、茨城町で整備されており徳川斉昭公の詠んだ句の石碑からの眺めが特に良い。
	茨城町	自然	涸沼 親沢の夕景	高台から見た親沢（涸沼）	涸沼湖岸の高台から見た夕景の親沢	秋の夕暮れ時に親沢を望むと、夕日に照らされた松林が湖面に映る風景が良い。親沢は、湖岸が砂浜で松林に囲まれ湖面に突き出した「親沢の鼻」と呼ばれる一帯が県指定の名勝になっており、徳川光圀公が詠んだ「親沢の一つ松」の句碑がある。
	茨城町	自然	千貫桜	桜並木	国道 6 号沿い入口付近から見た風景	現在の天皇陛下が、皇太子のときに養鶏試験場を視察にみえられたときに記念に植えた桜並木、約 750m が桜のトンネルになる。古くは、徳川光圀公が水戸城よりこの桜を観て、この桜は千貫に値するといったことからこの由来がある。その後徳川斉昭公が、その遺事を伝えるため、街道沿いに植樹したという。現在は、その桜は見ることができないが、千貫桜の碑が建立されている。
	大洗町	歴史	大洗磯前神社	大洗磯前神社	—	文化財である大洗磯前神社は、周辺一帯をクロマツ・シイノキの林に囲まれ、社殿の尊厳さが一層引き立てられている。大洗岬の高台、境内から望む太平洋は素晴らしい。

景域	市町村名	景観分類	代表する景観	視対象 (なにを、どこを)	視点場 (どこから)	特徴・選定理由
水戸	大洗町	自然	大洗海岸からの神磯の鳥居と日の出	神磯の鳥居と日の出	大洗海岸	神磯は「御祭神御出現の地」とされ、荒波が打ち寄せる様は、大洗海岸随一の景勝地であり、神磯の鳥居の真上から昇る日の出は素晴らしく、元旦の神磯の日の出を拝むために毎年多くの参拝者や写真愛好家に親しまれている。
	大洗町	自然	海岸	大洗海岸と大洗サンビーチ	岩礁と南側の砂防堤	大洗海岸は、白砂青松 100 選と日本渚百選に選ばれており、素晴らしい景観である。大洗サンビーチは、海水浴 100 選に選ばれ、遠浅で白い砂浜が続く海岸である。
	大洗町	自然	大洗の松林	松林	大洗海岸	森林浴 100 選に選ばれており、人々が散策などを楽しみ、四季を通じて観光客で賑わう。
	大洗町	自然	涸沼の夕照	沈む夕日（筑波山, 涸沼）	成田高架橋	遠くに筑波山がそびえ、沈む夕日と涸沼に映し出される夕日は幻想的な景色が写真愛好家に親しまれている。
	城里町	自然	御前山県立自然公園	御前山県立自然公園, 那珂川	那珂川河川敷	遠景に御前山県立自然公園、手前には那珂川が広がり、京都の嵐山の風景と似ていることから、「関東の嵐山」といわれており、視点場の那珂川河川敷は未整備であるが、水際まで行くことができ、水辺で遊ぶ人たちも多い。
	城里町	自然	那珂川の風景	那珂川	「道の駅かつら」駐車場	那珂川の流れ、そこでの釣や水遊び、カヌー、河川敷のバーベキューなどを楽しむ風景は、夏を代表する景観である。視点場は「道の駅かつら」の駐車場として整備されている。
	城里町	自然	皇都川とケヤキ林	ケヤキ木の群生	皇都川	御前山の裾を流れる皇都川沿いにはケヤキが立ち並び、林がつくる緑陰が涼しげである。視点場としては未整備であるが、川沿いに木立を見ることができる。
	城里町	生活	鶏足山と山麓の集落景観	鶏足山麓の集落, 遠景	鶏足山頂	町内で1番高い標高(430.5m)である鶏足山の頂は見晴らしがよく、空気が澄んでいるときは日光連山、茨城県庁・水戸美術館のシンボルタワーなども見える。視点場となっている鶏足山をまわるウォーキングコース(全長17.5km)が整備されている。
	城里町	自然	茶畑と赤沢富士	赤沢富士	県道鶏足山片庭線の鶏足山・赤沢富士登山道入口	赤沢富士(標高340m)の裾に、特産品であるやぶきた茶の茶畑が広がっている。視点場は特に整備されていないが、鶏足山・赤沢富士登山道入口となっている。
	東海村	歴史	石神城址公園の城址跡	城址跡の春草	石神城址公園	村の代表的な古城跡であり、石神地区の歴史文化的な中心となっている。現在、公園は整備中であり、石神城址公園を守る会(東海村ボランティア連絡協議会登録団体)によって公園内植樹や植物の保護活動が行われている。(駐車場、東海十二景の石碑あり)
東海村	生活	白方公園入口からみた公園風景	公園全景	白方公園入口	白方公園は都市緑地に分類され、池や噴水もあり、水と緑の豊かな空間。(駐車場、東海十二景の石碑あり)公園内には蛍の生息地がある。遠景には、田園風景が広がる。	

景域	市町村名	景観分類	代表する景観	視対象 (なにを、どこを)	視点場 (どこから)	特徴・選定理由
水戸	東海村	自然	阿漕ヶ浦公園の夜桜	夜桜	阿漕ヶ浦公園	春には、桜まつりが行われ、期間中には夜桜を楽しむことができる。阿漕ヶ浦公園は、村民生活に安らぎを与え、地域住民のコミュニティ形成の場として、また、災害時の避難場所として、あるいは都市景観を構成する要素として重要な役割がある。(駐車場、東海十二景の石碑あり)
	東海村	生活	村松駐車場からの細浦田園風景	田園風景	駐車場内四阿	手前に田園景観、遠景には天神山(真崎城址)を楽しむことができる。視点場となる駐車場には、四阿と東海十二景の石碑が設置されている。
	東海村	自然	村松海岸入口からみた砂浜と松	砂浜と松	村松海岸入口	地形はほぼ平坦で、砂浜と松の景観が楽しめる。現在は、J-PARC 建設中のため、海岸を訪れることはできないが、J-PARC 完成後に復元予定。(東海十二景の石碑あり)
鹿島灘	神栖市	産業	港公園からの鹿島港の眺望	鹿島港と鹿島臨海工業地帯	港公園展望台	一年中緑に包まれている港公園のシンボルタワー高さ52mの展望塔の展望台に立つと、左右に鹿島港、その先に太平洋が見渡せ、陸地に目を移すと鹿島臨海工業地帯の大パノラマが広がる。
	神栖市	自然	サイクリングロードからの外浪逆浦の眺望	外浪逆浦	サイクリングロード沿い	潮来市と境をともしする外浪逆浦の美しさは格別。特に夕焼け色に染まっていく川面はとともロマンチックで雄大でやさしい自然が感じられる。
	神栖市	自然	親水公園からの利根河口の眺望	利根川河口	親水公園の展望台	利根川沿いにある親水公園の展望台から、太平洋へつながる利根河口の風景と対岸の千葉・銚子市の町並みが見える。特に夕暮れ、利根川沿いに見える夕陽は銚子大橋などのシルエットとあいまって美しい。
	神栖市	自然	シーサイドパークから見える海岸線	太平洋	シーサイドパークの展望デッキ	シーサイドパークにある船の甲板を思わせる白いデッキから見渡す眺望は、風車と鹿島港までつながる約20kmにわたる海岸線。左右に広がる太平洋の水平線の水面から昇る朝日(夏季)がとても壮大できれい。
	神栖市	自然	神之池緑地公園	神之池	神之池緑地公園西側	池面積44ha、周囲4.4kmの池の周りには、緑地帯に沿って遊歩道が設けられている。池畔には約2000本の桜があり毎年桜まつりが行われ、茨城百景にも選定。
	銚田市	歴史	無量寿寺	鐘楼, 木堂	山門から(銚田市鳥栖地内)	親鸞聖人ゆかりの名刹、樹齢7,8百年を超える菩提樹、かや、けやきなどの大木に囲まれ、国、県の重要文化財が数多く指定され、茨城百景にも選定。
	銚田市	自然	北浦の景観と水郷銚田	北浦と銚田市街, 田園風景, 筑波山	銚田第二高校高台から	銚田市街地と北浦に続く田園風景、遠くに筑波山を望む。茨城百景にも選定。
	銚田市	自然	大竹海岸	鹿島灘(大竹海岸)	鹿島灘海浜公園から	鹿島灘海浜公園180°広がる太平洋を望む。夏は海水浴客でにぎわう。
	銚田市	自然	潤沼	潤沼	いこいの村潤沼	ヨット、しじみ漁の船が浮かぶ潤沼を望む朝・夕の景観が特に情緒がある。
銚田市	自然	北浦湖畔駅	筑波山, 北浦, 鹿島臨海鉄道	上島西小学校から	上島西小学校付近から望む北浦と鹿島臨海鉄道。遠くに筑波山を望む。	



景域	市町村名	景観分類	代表する景観	視対象 (なにを、どこを)	視点場 (どこから)	特徴・選定理由
筑波・霞ヶ浦	土浦市	自然	霞ヶ浦湖畔から望む筑波山	筑波山, 霞ヶ浦	霞ヶ浦湖畔から	手前には霞ヶ浦の湖面、その先に浮かぶ市街地、更に遠景には筑波山の山並みを望む雄大な景色は、水郷筑波を代表する自然景観といえる。
	土浦市	自然	霞ヶ浦湖上から望む帆引き船と筑波山	霞ヶ浦の帆引き船と筑波山	霞ヶ浦湖上から (霞ヶ浦沖合い)	霞ヶ浦の夏の風物詩、観光帆引き船と筑波山の眺めは、躍動感あふれる霞ヶ浦ならではの景観であり、遊覧船から見る事ができる。霞ヶ浦湖上からの眺めは、陸上の景観とは違った特異な自然景観である。
	土浦市	産業	霞ヶ浦周辺に広がるハス田	ハス田	霞ヶ浦湖岸(土浦市手野町付近)	土浦市はレンコン生産量日本一を誇っている。特に手野、田村、沖宿地区の霞ヶ浦湖畔には「ハス田」が広がり、初夏には一面ハスの葉で覆われるとともに、7月下旬から8月上旬にかけては白やピンク色の花が咲き誇る。多くのアマチュアカメラマンも訪れる農村景観である。
	土浦市	自然	朝日峠展望公園からの眺め	筑波山や霞ヶ浦等の眺望	朝日峠展望公園	パープルライン沿いにあるこの公園は、茨城の観光百景にも選ばれ、筑波山や霞ヶ浦をはじめとする眺望は見事である。また、スカイスポーツのメッカでもあり、カラフルなパラグライダーが大空を舞う風景もダイナミックである。
	土浦市	歴史	歴史・文化の香る歴史的町並み	歴史的商家の町並み	旧水戸街道の中城通り	旧水戸街道に残る歴史的商家の町並みは、土浦の歴史を現代に伝える貴重な財産である。
	つくば市	自然	筑波山の眺望	筑波山	道路(神郡地区)	筑波山の手前には、田園景観、集落景観が広がり、日本の道100選のつくば道が通っている。視点場は、道路上で景観を楽しむ場所は特に整備されていない。
	つくば市	生活	三井ビル19階フロアからの眺望	研究学園地区と筑波山	三井ビル19階展望フロア	研究学園都市の中心に位置する三井ビルは、87mの高さがあり、19階展望フロアからは、学園都市が一望でき、天気がいい日は筑波山はもちろんのこと、日光連山を眺めることができる。視点場は、三井ビル19階展望フロア。
	つくば市	生活	学園東大通り	学園東大通り	吾妻北橋	片側3車線からなる東大通りは、日本の道100選にも選ばれている。沿道の連続的な街路樹の緑は、つくば市を代表する道路景観である。視点場は、学園東大通りに架かる吾妻北橋で景観を楽しむ場所は特に整備されていない。
	つくば市	自然	桜川	桜川, 筑波山	桜橋(県道藤沢豊里線)	桜川は、河畔林が生い茂り、自然豊かな水辺景観が形成されている。遠景に見える筑波山眺望も絶好のポイントである。視点場は、桜川に架かる桜橋で景観を楽しむ場所は特に整備されていない。
	つくば市	自然	泊崎から見る牛久沼	牛久沼	泊崎地区	水辺に残された自然や広がりのある水面など、牛久沼の雄大さを実感できる。視点場は、つくば市最南端泊崎地区の七浦大明神で景観を楽しむ場所は特に整備されていない。

景域	市町村名	景観分類	代表する景観	視対象 (なにを、どこを)	視点場 (どこから)	特徴・選定理由
筑波・霞ヶ浦	潮来市	自然	権現山から見た霞ヶ浦の眺望	霞ヶ浦	権現山	視点場となる権現山は水郷国定公園となっており、市管理のため整備が行き届き、高さがあるため霞ヶ浦の眺望が良く、桜の季節の桜祭りなどと四季折々に市民が集い親しまれている。また、葛飾北斎が「富嶽三十六景」のひとつとして「常州牛堀」を描いた場所とされている。
	潮来市	自然	神栖市から潮来に向かい、鱈川橋から見た、潮来市外浪逆浦の風景と夕日・朝日が絶景	外浪逆浦の風景	鱈川橋	神栖市とは隣接していることから、特に水郷有料道路の鱈川橋は両市の交通アクセス手段として利用度が高く、多くの市民がこの風景を楽しんでいる。
	潮来市	自然	銚子屋旅館から見た霞ヶ浦の夕日	霞ヶ浦の夕日	銚子屋	銚子屋旅館は、筑波山と霞ヶ浦を一望、夕景色が美しい。筑波は紫峰と連なり夕日が湖面を染める夕日は絶景で、その風景は多くの画家たちに愛されモデルとなっている。割烹料理も地元の食材にこだわる美味しい川魚料理がメイン、霞ヶ浦湖畔にひっそりと佇む情緒と趣のある宿で、人里離れた場所にあるため離れ宿的なイメージから有名な作家や芸能人も利用する。
	潮来市	自然	長勝寺から見た稲荷山国定公園の景観	長勝寺と稲荷山国定公園	長勝寺	長勝寺は県文化財として歴史的建造物であり市の観光名所で、長勝寺の裏山が国定公園稲荷山になっており、両者の四季折々の美しいコラボレーションの風景が見事である。
	潮来市	生活	前川十二橋の風景	前川十二橋の舟から見た景観	前川の船着場	水郷国定公園のメインともいえる前川十二橋の川沿いの家並みの風景は、四季によりいろいろな顔があり、特にシーズン中の船着場付近の舟から見た景観は風情がある。
	稲敷市	産業	横利根閘門ふれあい公園	横利根閘門	公園	大正10年に完成し、歴史的施設であることから重要文化財に指定されている。春には桜の名所となっている。
	稲敷市	歴史	不動院からの眺望	小野川, リバーサイド公園, 市街地	不動院	高台にある不動院からの眺望は、小野川と町並みを一望でき、水辺に広がる市街地の広がりが見晴らしい。
	稲敷市	生活	大利根東公園	水郷大橋	大利根東公園	利根川堤防に整備された公園であり、公園からは利根川、水郷大橋、対岸の香取市の市街地を望むことができる。
	稲敷市	自然	霞ヶ浦と和田公園	和田岬(霞ヶ浦)	堤防	霞ヶ浦につき出た岬に整備された公園として湖面を一望できる眺めの良い公園である。
行方市	自然	湖岸からの霞ヶ浦	霞ヶ浦	湖岸堤防(浜地区)	夏季の朝、堤防を散策すると水面にはあさぎの花が広がり、背景には筑波山を望むことができる。あさぎが一面に咲いたときは、湖面に黄色い絨毯を敷いたように見える。	
行方市	産業	観光帆引き船	帆引き船(霞ヶ浦)	帆引き船随行船上	観光遊覧船で霞ヶ浦湖上クルーズに出ると、霞ヶ浦湖面に浮かぶ帆引き船を眺めることができる。現在帆引き船は観光のみ。7月から11月の土日・祝日運行され、乗船することはできないが、帆引き船随行船から帆引き船をみるることができる。	